



## サービス料金が決まりました。 三つのコースをご用意しました。

10月2日日本格スタート  
**温かなご用聞き活動**

おまたせしました。いよいよ10月2日から、ご用聞きサービスをスタートさせます。本格スタートに伴い、料金体系が決まりました。下表のとおり、三つのコースをご用意させていただきました。

Aコースは、基本コースとなっており、年会費三千六百円で、一時間七百円での作業を。Bコースは、月会費二千円で、月四回三十分の定期訪問作業を行います。Cコースは、年会費一万二千円で、週三回短時間お元気伺いをさせていただきます。Cコースには作業はありません。簡単な会話により、困りごとなどがないかお聞きし、元氣であることを確認させていただきます。

なお、B・Cコースとも、ご希望があれば一時間七百円にて作業承ります。



コース	会費	内容
A	年3,600円	必要な時に1時間700円で作業
B	月2,000円	月4回30分の定期訪問作業
C	年12,000円	週3回の短時間お元気伺い

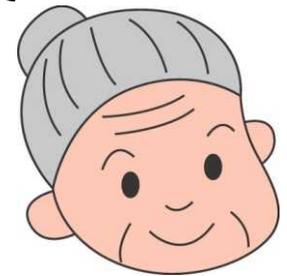
\* その他会員には時間700円、非会員には時間1,000円にて作業承ります。

## 近日公表です

# 新事務所開設準備中

### 新事務所を準備中

たんぽぽでは、これまでに町並不動産に事務所を設置してきましたが、事業の本格スタートに伴い、新たに事務所の設置することとしました。場所につきましては決まり次第、皆様にご案内させていただきます。



あなたの力を貸して下さい。利用者の方にと、喜んでいただけます。得意分野がなくても、話相手だけでも、お持ちしています。

## ご用聞き スタッフ募集中

わずかですが、報酬も用意しています。また利用者の方にも喜んでいただいで、充実した時間となります。何でもご相談ください。みんなが楽しくやる、それがモットー。

発行：温かなご用聞きねっと「たんぽぽ」

住所：〒611-0002

宇治市木幡正中46-5

電話：0774-31-4985

ホームページ：[www.ujitanpopo.jp/](http://www.ujitanpopo.jp/)

メール：[info@ujitanpopo.jp](mailto:info@ujitanpopo.jp)

代表者：延谷 均



京都地域創造基金で

優遇税制が受けられます

寄付を募集しています。

寄付振込先は

銀行振込  
京都信用金庫本店  
(普) 2028479  
公益財団法人  
京都地域創造基金

郵便為替  
00930-4-312262  
京都地域創造基金  
寄付口座  
通信欄への記載  
ご用聞き

公益活動に対して、主に財政面で支  
援するために設立された京都地域創  
造基金の、事業指定助成プログラム第  
一期採択事業に、「たんぽぽ」の行っ  
ているご用聞き事業が選ばれました。  
指定を受けたことにより、「たんぽ  
ぽ」への寄付については、税制の優遇措  
置を受けることが可能となりました。  
詳しくは、「たんぽぽ」事務所か京都  
地域創造基金ホームページへ。

公益活動として  
事業指定を受ける

京都地域創造基金ホームページ  
<http://www.plus-social.com/>

私達の活動目的です。

- 高齢者世帯などが地域で孤立している状態を改善し、交流の場を設ける。
- 地域の商店街が活性化するような地域の中での金の流れを作り出す。
- 地域の商店街に人の流れを作り出す。
- シニア世代に地域で活躍いただく場を提供する。
- 地域住民の安全・安心を見守る。
- 地域住民に「市民活動」の大切さに気づいてもらう。

目の手術をした後の通院の介助をしてもらっています。自宅から一緒に行って病院での受け付けから診察を終えて帰るまで付き添ってもらえるので心強い。Mさん



利用いただいている方の  
声 声 声



料理をしてもらってます。1回4人前めずらしいもの、温かいものが食べられる。高齢なので食べに出かけることができないので、自宅で本格的な料理をもらえてとてもうれしい。自宅なので気軽に食べられる。外食の場合、量が多く食べきれないが、自宅なので家族と分けられる。人目を気になくてよい。料理の仕方、残材(余ったもの)の利用方法も教えてもらえる。Iさん

女手一人では出来ない事を手伝ってもらってます。こないだは、障子の張替を手伝ってもらいました。4枚はりかえてちょうど1時間で700円支払いました。ちょっとした事でもやってもらって助かります。Oさん

六地蔵・木幡ちよつと物知り

正覚院の  
長坂地蔵の道標  
六地蔵南集会所から東に百メートルほど、正覚院に長坂地蔵の道標がある。  
長坂地蔵は、市内山間部の炭山に行く途中の長坂峠にあったことからこう呼ばれた。明治十年に正覚院に道標とともに移されてきた。現在その道標は門前の右側に建つ。  
「北奉獻地蔵尊すぐ石山道、東施主京都小巖屋善五郎／同丸屋孫兵衛／宇治伊勢田瀬兵衛、西天保五年十一月吉日」長坂地蔵は門を入った左のお堂の中に安置されている。